

## 島田の商店街 静岡文化芸術大生調査

# まちなか再生へ提案

静岡文化芸術大文化政策学部の藤井康幸教授のゼミ生がこのほど、島田市内の商店街で空き地・空き家の調査やまちなか再生に向けたアイデアの検討に取り組み、25日、代表生徒が市役所で染谷絹代市長らに研究成果を発表した。



島田市内の商店街の空き地、空き家の調査を基に活性化のアイデアを提案した学生ら（左側）

＝島田市役所

## アート、日替わり店舗…

ふじのくに・大学コンソーシアムのゼミ学生等地域貢献推進事業の一環。学生12人が10月に島田市本通6、7丁目や高砂、宝来町の一部で空き店舗の数や空き地の管理状況などを調べた。

この日は商店街のにぎわい創出に向け、シテーパーロモーション「島田市緑茶化計画」と連動した景観づくり▽マスキングテープを使ったシャッターアートなどのアイデアに加え、高齢者や主婦向けの総菜店出店、日替わり店舗の運営といった生活者目線の対策も提案した。

同学部3年の栗田菜瑠実さんは「店主の熱意や温かさを感じ、取り組み次第で人を呼び戻せるのではと感じた」と話した。染谷市長は「商店街が買い物するだけでなく交流の場となるよう、提案を実践していきたい」と述べた。

(島田支局・中村綾子)